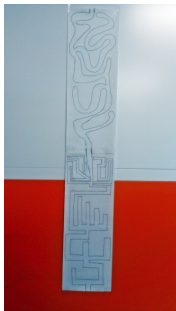


細長い迷路を作ろう

利用者全員で協力して迷路を作ってもらいます。
利用者が増えれば増える程個性が出て面白いです。



ジャンル 運動機能改善 認知症予防 ゲーム 料理

身体面への効果 指定されていません

精神面への効果 指定されていません

介護度 要介護度2 所要時間 25分

性別 男性  女性  どちらも好評です 人数 3人～

道具 (一人当たり予算0円)

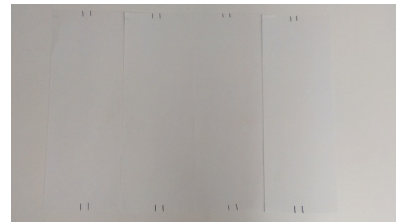
A4用紙を縦半分に切ったもの人数分
(横幅10cmで、縦が長い紙でも可)
ペン
セロハンテープ

注意点・追加ルール

期待効果 考える力を養います。
書くことで指のトレーニングにもなる。

1

1人に1枚紙を配る。(道具に記載してある形のもの)
それぞれに地図を書いてもらうが書き方がある。



2

必ず用紙下の真ん中から始まって、用紙上の真ん中に
進めるもの
その間にいくつ分岐があっても良いが、始まりと終わ
りは必ず真ん中に。
あらかじめ始まりと終わりの線を2cmずつ引いておく
と描きやすい。



3

描き終わったら回収して、順番をバラバラにして
全員の地図の裏側をセロハンテープでつなげます。
始まりと終わりは同じなので、必ず続くようになって
います。
全て繋いだら、丸めていきます。



4

丸め終わったらゲーム開始。参加者全員でじゃんけんをしてプレイ順を決めます。
一人、地図を広げる役目を頼むか、職員の方がやってください。
まず端っこの少しだけ開いて、プレイヤーはスタートに指を乗せます。



5

プレイヤーが進んだら、紙を少しずつ広げていきます。
行き止まりになったらプレイヤー交代です。
これを繰り返し、全員で協力してゴールを目指します。

6

これは私達が普段やっているルールなので、応用とい
いますか
行き止まりになっても続けるのもありでしょう。
地図の順番を変えたり、新しい地図を追加すれば
毎回違った地図になり、飽きません。

